

なかしべつ町

社協だより

平成21年12月発行 第39号



目次

中標津町社協の取組みとは	2～4
社協ミニミニ情報	
第41回中標津町社会福祉大会	5
雨が降っても災害は起きる！	6
よい子じゃなくていいんだよ	6
1枚の地図から支えあう地域づくり	6
ボラセン情報	7
ご寄付のお礼、収集ボランティアご協力のお礼	8

中標津町社協の取組みとは

「社会福祉協議会は何をしようとするのか」という声を耳にするようになります。

一言で表現すると「誰もが安心して暮らすことができる地域福祉の実現を目指した活動」
ということなのですが、中標津町社協ではどのように取組んでいるのかお伝えします。

社会福祉協議会の歴史と役割

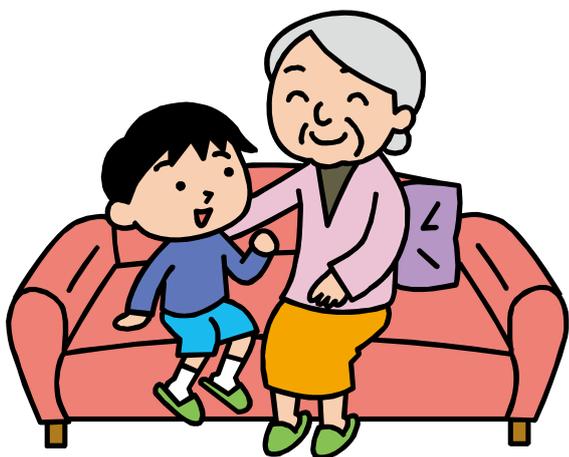
社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした非営利の民間組織です。1951年（昭和26年）に制定された「社会福祉事業法」（現在の「社会福祉法」）に基づき設置され、中標津町では昭和42年に設立しました。

社会福祉法では、「地域住民、社会福祉を目的とする事業を営業者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化

その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように地域福祉の推進に努めなければならぬ（第4条）」と規定され、その地域福祉の推進を図ることを目的とする団体（109条）として社会福祉協議会が位置付けられています。

具体的活動として、各種の福祉サービスや相談活動、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動への協力など、全国的な取組みから地域の特性に応じた活動まで様々な場面で地域の福祉増進に取り組んでいます。

また、社会福祉協議会は町民皆様のほか、民生委員児童委員、社会福祉施設・社会福祉法人などの社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現を目指した様々な活動を行っています。



中標津町社会福祉協議会の事業

中標津町社会福祉協議会では次の3つを重点推進目標として平成21年度は事業を実施しています。

- ①地域で支えあう基盤と風土づくり

- ・町内会福祉活動体制、小地域ネットワーク活動の促進と支援

- ・住民型サロン活動の提唱と支援

- ・ボランティア活動への参加と意識づくり

- ・ライフサイクルに応じた学習や活動機会の提供

- ②公的サービス体制の充実化と住民視点でのサービスの提供

- ・24時間訪問介護サービス提供の体制づくり

- ・介護サービス提供体制の強化と従事者の意識向上

- ・効率的な運営体制の検討
- ・新たな住民サービスの検討

- ③指定管理者としての経営管理

・中標津町総合福祉センターの効果的効率的な管理運営

この重点推進目標のもと、様々な事業を展開しています。

●地域福祉事業

地域の見守り活動や支えあい活動の基盤づくりのため、町内会への活動助成やふれあいいきいきサロンの活動支援など各種事業を行っています。



→平成19年度地域ネットワーク研究集会の様子。地域で抱える課題について話し合いの場を持ちました。今年度も平成22年2月開催予定です。

●中標津町ボランティアセンター

ボランティアセンターは、地域住民皆様のボランティアに対する理解と関心を高め、組織的なボランティア活動の育成・援助を行うとともに、ボランティア相互の連絡を密にし、ボランティア活動を通じて地域福祉の向上を目的として、活動に対しての相談や調整、活動の啓発のための講座の開催などの事業を行っています。

●中標津町社協ケアサービスセンター

中標津町社協ケアサービスセンターでは、介護保険制度における要支援・要介護と認定された方や障害者自立支援法など各種制度の対象となられた方の自宅での生活を支えることができるよう「訪問介護事業」「訪問入浴事業」「居宅介護支援事業」のサービスの提供を行っています。

①訪問介護事業

介護福祉士等が要介護者等の自宅を訪問して、入浴、排泄および食事等の身体介護、調理、洗濯お

よび掃除等の家事援助、生活に関する相談および助言等の必要な日常生活のお世話を行います。ただし、生活援助中心型の訪問介護は要介護者等が一人暮らしのため、または同居家族等の障害または疾病等のため、自ら行うことが困難な家事で、要介護者等の日常生活に必要なものに限られます。

サービスは利用者の日常生活全般の状況や希望をふまえ、サービスの目標と内容を定めた訪問介護計画に基づいて行われます。

②訪問入浴事業

自宅の浴槽での入浴が困難な方のご自宅へ訪問し、特殊浴槽を居室の中に運び入れて入浴を行います。基本的には事前に訪問スケジュールをご相談し決定した上で定期的に訪問します。訪問にあたっては、事前に主治医に記載してもらった診断書を提出していただき、看護職員1名と介護職員2名が体調を確認しながら行います。

訪問入浴事業は、介護保険制度による訪問入浴介護と、中標津町障害者地域生活支援事業実施規則

(中標津町から委託)による訪問入浴サービスを実施しています。

③居宅介護支援事業

居宅介護支援事業は、在宅の要介護者等が介護保険の在宅サービスやその他のサービス等を適切に利用できるように、要介護者等の依頼により行われる居宅サービス計画の作成、サービス事業者との連絡調整や、介護保険施設への紹介等を行います。



→この入浴車で自宅を訪問します

●中標津町通所型介護予防事業

中標津町から委託を受け、要介護状態となることを予防し、その居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、個々の状態にあわせた支援を行うことを目的とした通所型介護予防事業を行っています。

具体的には体を動かさずに暮らしている筋力が低下し、転倒や骨折などの事故を招きやすく寝たきりとなる可能性が高くなります。要介護状態にならないように、運動や創作活動を取り入れ楽しみながら体力維持を図るプログラムとなっております。

この予防事業に参加したい方は中標津町役場介護保険課のケアマネージャーにお問い合わせください。

●相談援護事業

心配ごと相談として、日々の生活や福祉に関わる相談を受け付け、内容によっては他機関と連携を取り紹介などを行っています。また、地域福祉権利擁護事業や資金貸付制度の利用についての相談も受け付けています。

●調査広報事業

社会福祉大会を開催し、中標津町の社会福祉の発展に功績のあった方々の表彰を行ったり、社協だよりやホームページにて事業や助成金などの情報を提供をしています。

●団体事務局

北海道赤い羽根共同募金会中標津町分会、中標津町老人クラブ連合会、中標津町遺族会の3つの団体の事務局を担当しています。

●中標津町総合福祉センターの管理運営

中標津町から指定管理を受け、センター内の管理や健康増進室、貸館の運営を行っています。

中標津町社協の財源

社協一般会計の財源は、中標津町からの補助金、委託料、会費、寄付金、共同募金配分金で賄われています。特に、会費や共同募金配分金は社協が行う地域福祉事業の財源として活用されています。寄付金は慶弔寄付として多くの住民の方々から多額の浄財をお寄せいただいています。

介護保険事業(社協ケアサービスセンター)については介護保険制度における介護報酬のほか、各種制度における公的財源をもとに運営を行っています。

【社協会員会費制について】

中標津町社会福祉協議会では、地域福祉事業は地域住民のご参加のもと行われるものと捉え、町民全世帯の皆様を社協会員の対象とさせていただきます。会費のご協力をお願いしています。

地域住民の皆様の福祉に対するご理解とご協力のもと、地域福祉事業に取り組んでまいります。

協 社

報 情

社協事業や、地域の福祉活動の
情報をご紹介します。



第41回中標津町社会福祉大会開催

功労者を表彰、その後には講演会

第41回中標津町社会福祉大会を
11月20日、中標津町総合文化会館
(しるべつと)で開催し、中標津
町社会福祉協議会表彰、北海道社
会福祉協議会会長表彰の伝達、北
海道共同募金会会長表彰の伝達を
行いました。

また、式典後には映画「折り
梅」の原作者である小菅 もと子
氏による、「『忘れても、幸せ』
と思える地域に」をテーマとした
講演会を行い、200名の地域住
民の皆様の参加がありました。
講演会では小菅氏の介護体験を
もとに「相手の気持ちに寄り添っ

つた介護が必要」「地域の理解を
得ることで大きな助けとなった」
などの話があり、家族だけではな
く地域ぐるみで認知症の方を支え
ていく重要性について考えること
ができました。

表彰者

○中標津町社会福祉協議会会長表
彰

【福祉関係団体役員功労】

- 本田 慶治 様
- 坂本 弘 様
- 岳田 道雄 様
- 堤 徳夫 様



- 木戸 正悦 様
- 金沢 春子 様
- 瀬川 淑子 様
- 荒川 喜美子 様
- 池田 亀雄 様
- 越前 トキ 様
- 北山 マキコ 様
- 酒井 交子 様
- 小野 貞子 様
- 塩田 専治 様
- 奥田 勝佳 様
- 飯島 光五郎 様

- 加藤 正 様
- 阿部 俊一 様
- 高嶋 貞作 様
- 佐々木 文作 様
- 三枝 留蔵 様
- 須崎 タツ 様
- 弾正原 正春 様
- 遠藤 直行 様
- 田中 マツノ 様
- 秋山 政雄 様
- 太田 俊昌 様
- 半沢 勇雄 様
- 坂井 幸子 様
- (故) 皆川 陸郎 様

【経済的支援への感謝】

- 北海道信用農業協同組合連合会 様
- 中標津町農業協同組合 様
- 計根別農業協同組合 様
- ふれあいチャリティフェスタ 様
- 雨宮 トシ 様
- 北海道社会福祉協議会会長表彰伝
達
- 合田 武三 様
- 上野 洋子 様
- 北海道共同募金会会長表彰伝達
- 岡部 新一 様

雨が降っても災害は起きる！

災害時から考える地域のネットワーク事業

8月から11月にかけて、泉町会連絡協議会、第2宮下町内会、睦町内会、栄町内会の4つの町内会で災害時から考える地域のネットワーク事業を開催しました。

晴れ間が見える日もあれば雷が鳴るほど天候が悪い日もありましたが、「災害は天候は関係なく襲ってくる」と悪天候の中でも開催してきました。

災害救援ネットワーク北海道 代表 山口 幸雄氏の講演では、災害ボランティアの様子や防災グッズの話があり、町内会で災害時の対策を日頃から準備しておく大切さを実感することができました。



子どもじゃなくいいんだよ

通称どらえもんくらぶ研修会

9月5日、釧根地区ADHD、LD、PDD懇話会中標津支部（通称どらえもんくらぶ）の主催

で北海道教育大学釧路校 戸田 竜也氏による研修会が開催されました。

研修会は「子どもの発達を支える家庭、学校、地域」豊かな子ども時代をどの子にも」と題して行われ、講師の実体験などから子どもの発達とはどのようなもの

一枚の地図から支えあう地域づくり

小地域福祉活動連絡会議

9月12日（土）、中標津町総合福祉センター（プラット）にて小地域福祉活動連絡会議を開催し、北見市緑町緑友町内会長 慎一氏から「福祉活動の取組みを通して町内会の活性化を！」と事例発表がありました。

北見市では平成19年6月に大規模断水災害が発生しました。緑友町内会では「断水災害緊急災害対策本部」を設置し、「災害時支援マップ」を活用して給水支援活動を実施しました。

今回の連絡会議ではNHKで放映された映像を含め、実践的な町内会活動の方法や緊急時に役立つマップ作り作成と今後の積極的な助け合いの地域づくりに活かせる

なのか、大人が考える「よい子」とは大人だけの判断ではないのかと話があり、子どもとの関わりについて改めて考える場となりました。

内容で、町内会役員、福祉部等担当者、社協役員の参加者に災害が起きる前に地域の中にネットワークを作っていくことの必要性を改めて考えることができました。





ボラセン情報

中標津町社協ボランティアセンターからのお知らせ



福祉レクで地域に笑顔を広げよう

～平成21年度中標津町ボランティア講座～



10月24日（土）、中標津町経済センター（なかまっぷ）にて平成21年度中標津町ボランティア講座を開催しました。

講義、演習はケアレクリエーション倶楽部代表南部 広司氏から介護予防レクリエーションについてできるだけ簡単に、道具を使わず、楽しみながら行えるレクリエーションについて学び、実際のボランティア活動や地域福祉活動とイメージを合わせながら進めました。

また、演習中は笑いが起きることが多く、26名の参加者は楽しみながらレクリエーションを通じてコミュニケーションを図ることを体験することができました。

↑ 2つのビーチボールを使って片方のボールではしりとりを、もう片方のボールでは2の倍数の数字を100まで順に言いながら手渡していくゲームです。後ろから「早く早く」と急かされると、どうしても間違えてしまいます。ゲーム1つからも「コミュニケーションって大事だなあ」と考えさせられました。

ちょっと体験ボランティア講座（冬）のお知らせ

本年度もちょっと体験ボランティア講座（冬）の開催を予定しております。日時、内容については現在検討中です。決定いたしましたら各学校を通してお知らせいたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

♪ リングプル収集ボランティアの状況 ♪

（平成21年11月末現在）

現在貯まっているリングプル総重量 870kg（前回649kg）

次の目標：子ども用車椅子（介助ブレーキ付） 1,080kgまで

あと 210kg です。

子ども用車椅子は中標津町社会福祉協議会にて貸出用として活用予定です。これからも多くの方のご協力お待ちしております。

あたたかい真心ありがとうございました

香典返しにかえて

須郷洋子様
江西浩一様
山森恒男様
皆川タヨコ様
大塚文雄様
小原喜美慧様
奥野明様
日下幸子様
佐藤駿介様
松岡キミノ様
濱田哲夫様
百崎重夫様
中野朝子様
齋藤正子様
内田京子様

深瀬邦雄様
角田儀宣様
飯島清市様
中尾邦幸様
荒孝様
遠藤直人様
進藤光枝様
工藤隆弘様
竹嶋久様
有原トミエ様
中塚秀夫様
重松昭夫様
佐藤久子様
大西和子様
崔光子様

若森多貴代様
瀧ヶ平静子様
中村勝子様
大橋イツ子様
大能哲也様
小山ミヨ子様
山崎衛様
甚野劭様
湯元富子様
小山安枝様
辻聡之様
三瓶千代子様
中村貞子様
児玉美津子様
中村末松様

篤志寄付として

青木ケイ（他7名）様

平成21年11月24日分まで掲載



収集ボランティアにご協力いただきました

中尾書店様
デイサービス応援様
中標津農業高校様
中標津りんどう園様
住友生命中標津支部
ひまわり中標津店様
(株)コマツ道東様
養老牛老人クラブ様
もりたセレモニーホール様
新中標津支部様

中標津ライオンズクラブ様
美原おどりグループ様
明治安田生命中標津営業所様

平成21年11月17日分まで掲載

青山智和様
小沢たか子様
石山和美様
鈴木三義様
志賀正秋様
高橋薫様
綱木千枝子様
小納谷一恵様
伊藤節子様
菅原金司様
佐野陽南様
永島一枝様
越智義隆様
本田イノ様
矢萩義江様
武藤芳巳様
重松麗子様
板倉清三様
山本智也様



社会福祉法人 中標津町社会福祉協議会

〒086-1110

標津郡中標津町西10条南9丁目1番地4

中標津町総合福祉センター

電話 0153-79-1231

FAX 0153-79-1233

<http://www.nakashibetsu.jp/shakyoHP/index.htm>



「社協だより」は共同募金の一部配分金を受けて発行しています